





川遊び

著　ESOW ／川（荒川晋作・関川徳之）

日本のスケートボード黎明期より滑走し、グラフィティを根っこに独自の世界を描いてきた ESOW と
日本全国の路上を流れ、そこに生きるスケーターと森羅万象を撮り続けてきた川の 2 人、荒川晋作と関川徳之。

何気ない街並み、どこか懐かしい風景、生々しい自然。川が切り取った数々の瞬間に、
ESOW のユーモラスな想像が加わり生まれた作品が『川遊び』です。

浅草、鎌倉、金沢、京都、福岡などゆかりのある土地での展示や滞在制作を重ね、
300 点を超える作品から約 120 点を選び、一冊にまとめました。
2019 年に刊行された一作目には収録されていない作品となります。
絵と写真で紡ぐ気取らない日本の“粋”をお楽しみください。

ESOW　@esowom

1972 年、東京生まれ。13 歳でスケートボードに乗り出し、17 歳で渡米。
グラフィティに出会い、自らのルーツでもある江戸の粋に影響を受けた
独自のスタイルを生み出す。浅草を拠点に国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパ、
アジアなどでも長年の注目を集め続けている。表現の媒体は紙、壁、木材、立体など、
幅広く柔軟。また、様々なブランドや企業とコラボレイトしている。
日本のスケートカルチャーにおけるパイオニア集団「T19」、
グラフィティ史に功績を刻んだ「大図実験」のメンバーでもあった。

川 / kawa カワ　@kawa_img

2016 年、2 人のフォトグラファー荒川晋作と関川徳之により始まったプロジェクト。
チーム名は両人の姓に共通する「川」の文字に由来する。
十代の頃よりスケートボードとカメラに没頭し、未だ撮る旅を続けている。
自ら縫う和綴じで制作した「川の本」に始まり、2020 年からはおよそ半年に一冊のペースで
オークラ出版より本をリリースし続けている。